

令和 2 年 6 月 29 日

令和 3 年度実施市民提案型協働事業 事前意見交換(中間・結果)確認書

事業名	持続可能な地域運営組織の再構築モデル事業	
実施主体	団体名	(特定非営利活動法人) 湘南NPOサポートセンター
	事業担当課	協働推進課
意見交換の概要	<p>【提案団体の考え】</p> <p>① 事業の目的、力点を明確にすべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的は、高齢化とウイズコロナ、アフターコロナの社会環境に対応し、幅広い世代が地域運営に参画していくことをめざし、地域の実態に合った地域活動やその運営団体間の連携を検討していくうえで、留意・確認するポイントを地域の皆さんと共に考え検討し、体系化していくこととする。 ・力点は、幅広く地域の声を反映していく方法、課題や目標を共有するための客観的データの作成方法、活動を企画検討する場の作り方や進め方をわかりやすく解説するマニュアルを作成し、他地域へと波及・横展開していくことを目的とする。マニュアルには具体的に実践した地域の事例も掲載する。 <p>② 地域団体の存在意義、自主性・自律性を考慮すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民ならびに各団体へのアンケート、ヒアリングを通じて、地域の各団体の年間の活動実態とその貢献・成果等を再整理するとともに地域に共通する課題や改善点、今後必要となる地域活動等についても、地域主体でニーズ把握ができるようにサポートする。 <p>③ 地域の意見を幅広く聞く姿勢で取り組むべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で様々な活動を自粛している状況の下で、各世代が地域の安全・安心と健康・活力として重要と感じている点や主体的に参画していく必要があると感じている点(上記アンケート、ヒアリングの結果)を公表していく。 	
	<p>【担当課の考え】</p> <p>地域をコロナ以前にそのまま戻すのではなく、活動の効率化や負担軽減を図るなど、新しい在り方にしていく必要があると考えているため、アフターコロナ、ウイズコロナをより意識した取組を進めて欲しい。</p> <p>地域への説明等は、当課との連携をしっかりと図り慎重に対応して欲しい。</p>	
事業実施に向けての課題と対応	<p>【確認できた現状の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名である「…地域運営組織の再構築モデル事業…」は地域団体の統合が目的のように受け取られないように再考する ・各地域の活動の実態、団体運営の実態と課題をよく把握し、それぞれの地域団体が工夫している点を確認しながら検討していく必要がある ・安全・安心や防災等、学校と公民館や地域が連携している行事・活動に実態と課題等も視野に入れ、検討する ・地域活動推進会議のような既存の地域団体横断的な協議・調整組織等での活動実態と課題を確認していくことが重要である。 	

